現場説明書（技術的事項）

工事名　福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

○ 該当する　　● 該当しない

2. 別途工事

北棟校舎防水改修工事

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事請負人は，地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用となるため，仮囲い等を設置し，事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は，周辺地域，生徒，職員及び第三者の安全に細心の注意を払い，危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議，調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と生徒・学校関係者の出入り口が重複するため，大型車等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し，安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は，学校管理者と協議が必要です。

⑥ シート防水改修機械的固定工法のアンカー打ち等，音の発生する作業は学校管理者と事前協議が必要です。

⑦ この工事は，建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが，特定建設資材の再資源化に努めるとともに，産業廃棄物は適切に処理してください。

⑧ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに，速やかに施工計画書等の承諾を受けてください。

⑨ 工事中は新型コロナウイルス感染症への対策に努めてください。

⑩ 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は，「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具，胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

⑪ 本工事は，法定外の労災保険を見込んでいる。

１　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため，次のとおり実施に努めること。

(1)　「３つの密を避けるための手引き」の活用

各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに，作業所等で掲示を行う。

・https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin

(2)　「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用

各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知を図る。

・http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf

※各現場での対策事例については，TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。

２　上述の１を参考に，新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は，実施計画書（様式１）により監督員と事前に協議を行い，必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出する。

なお，必要と認められる対策については，設計変更の対象とする。

３　最終精算変更時点においては，実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し，領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式２）を監督員に提出する。

４　受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については，法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

５　疑義が生じた場合は，監督員と協議すること。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

＜共通仮設費＞

○労働者宿舎での密集を避けるための，近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも，その後の積算における現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とする。

＜現場管理費（業務においては直接経費）＞

○現場従事者のマスク，インカム，シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液，赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも，その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とする。

このほかにも，感染拡大防止のために必要と認められる対策については，設計変更の対象とする。

福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事

図　面　リ　ス　ト	
番号	図　面　名　称
A-01	表紙・図面タイトル
A-02	建築工事特記仕様書・付近見取図・配置図
A-03	平面図・断面図

工　事　名	福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事			福山市教育委員会事務局管理部施設課			2022年10月	図　面　No.
図面名称	表紙・図面タイトル	縮　尺	―	主　務	係　員	次　長	課長補佐	施設課長	部長	A-01

工事概要

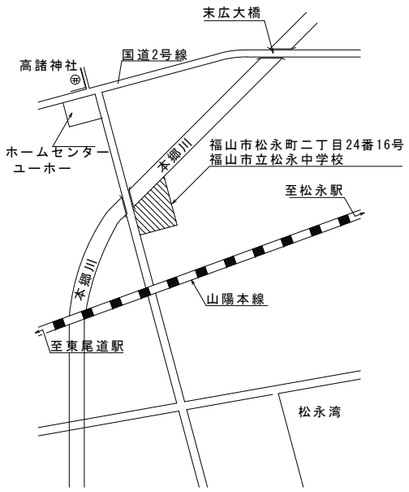
1.工事名称	福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事
2.工事場所	福山市松永町二丁目２４番１６号
3.工事概要	防水改修工事　一式
4.別途工事	－

仕　様

1.共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修，公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版による。 (1) 官庁手続き 本工事請負者は各官公庁への必要な手続きを代行する。（官庁手続きは監督員の承諾後とする。） (2) 地元企業及び地場製品の活用 本工事請負者は，地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。 (3) 疑義に対する協議等 設計図書に定められた内容に疑義が生じたり，現場の納まり又は取り合い等の関係で，設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは，監督員と協議する。 (4) その他 本工事の工期は，工事検査期間として１４日を含んでいる。
2.主任技術者	請負者は，主任技術者を建設業法によって定め，工事現場内において工事名・工期・写真・所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。
3.化学物質等を発散する建築材料等	本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の 1) から 5) を満たすものする。 1)合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材，緩衝材，断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し，ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗材はホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)　1)，3)及び　4)の建築材料を使用して作られた家具，書架，実験台，その他の什器は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。
4.発生材の処理	すべて構外に搬出し，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等によるほか，建設副産物適正処理推進要綱に基づき 適正に処理する。 ・建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ） 本工事は登録対象工事であるため，請負者は，施工計画時，工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデーターの登録を行うものとする。また，リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は，次表により計画書（実施書）を提出する。

	工　事　着　手　前	工　事　完　成　時
搬　入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬　出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

	なお，これにより難い場合は，監督員と協議する。 本工事で発生する建設廃棄物のうち，広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については，広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理する。　なお，本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 産業廃棄物管理表（ﾏﾆﾌｪｽﾄ　Ｄ．Ｅ票の写し）を提出する。
5.工事及び完成写真	着工前　サービス版カラー 工事中　サービス版カラー　１部提出 完成時　サービス版カラー
6.完成時の提出図書	竣工図電子データ（竣工図電子データ作成要領による）　一式
7.仮設工事	工事用水，工事電力は，校内既存施設を無償で使用できる。
8.工事現場の安全対策	工程は，建物管理者と協議し学校施設運営に支障のないように努める。 入口より工事現場までの間は，学校施設と共同使用となるので安全の確保に努める。 その他，必要に応じ仮囲いを設置する。　工事に際し，施設に破損を与えた場合は，請負人の責任において速やかに原状復旧を行う。
9.施工計画書	事前に，仮設計画書、施工計画書を作成し，監督員に提出する。
10.使用材料	使用材料（見本を含む）は，監督員の承諾を得る。
11.工程表の提出	契約後14日以内に実施工程表を作成し，監督員に提出する。
12.保証書	10年保証
13.自社施工を求める対象工種	本工事は，受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により，次の工種を全て施工しなければならない。 ・防水工（仮設工事等付帯工事は除く。）

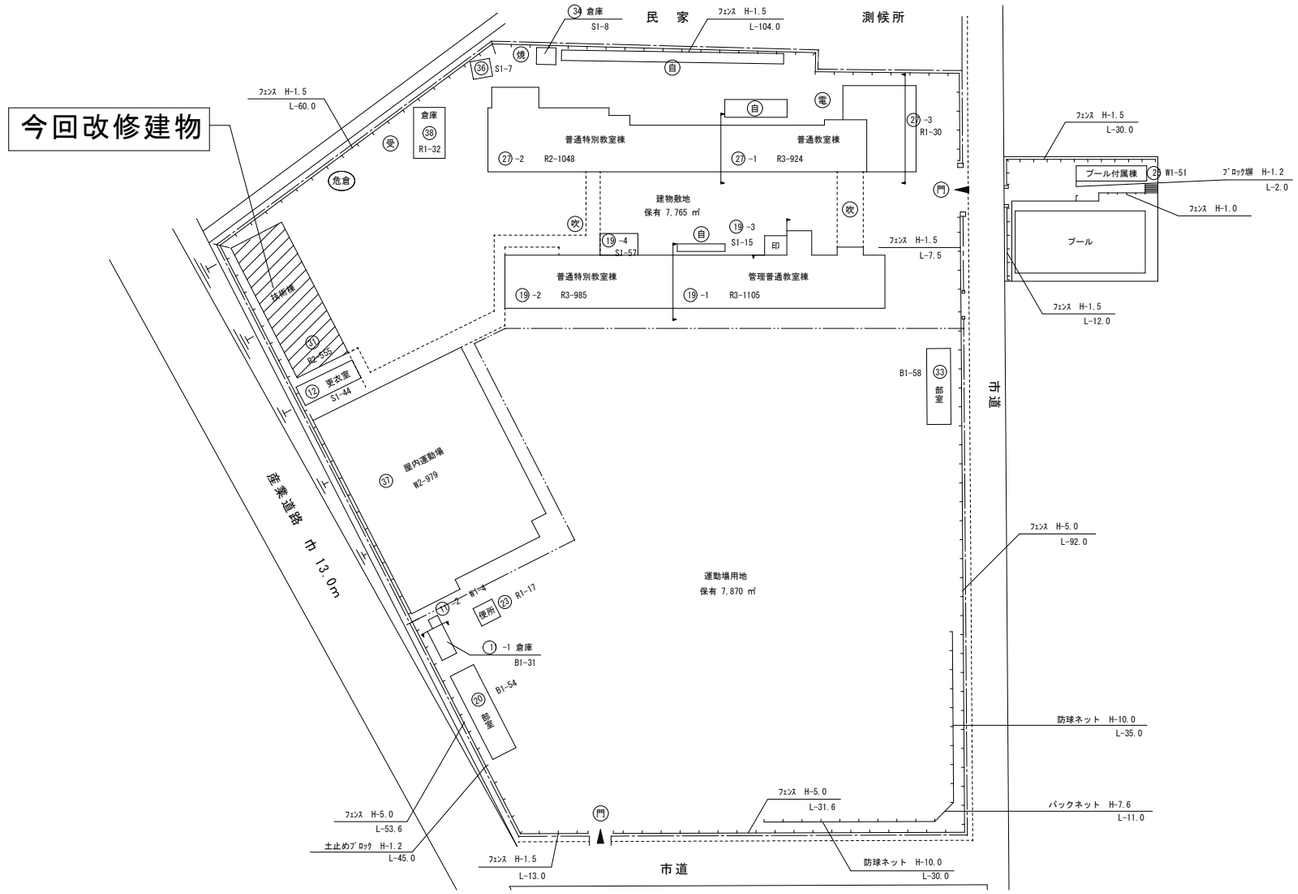


付近見取図

工事範囲：校舎屋上指示範囲

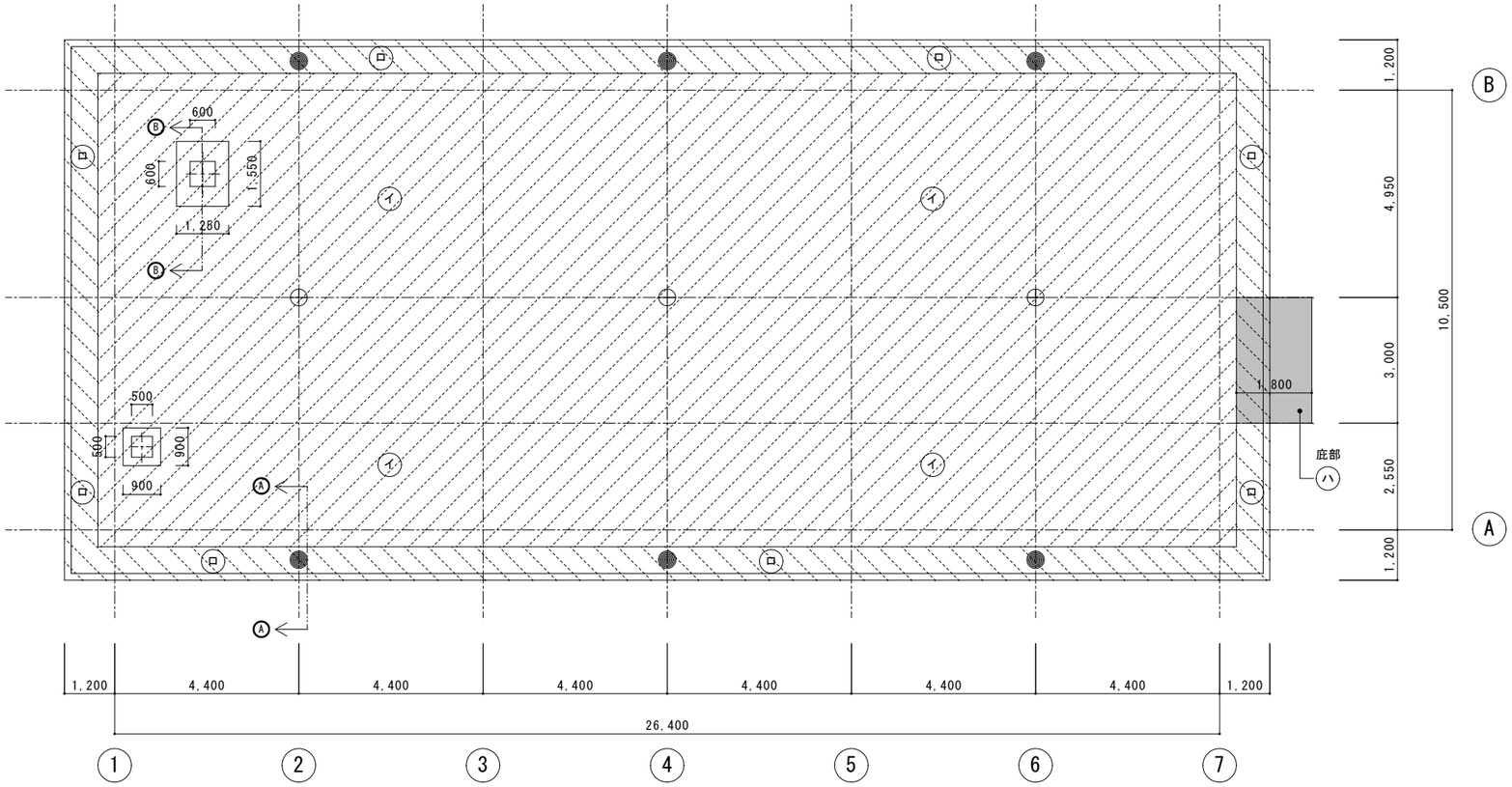
改修内容
　既存防水：加硫ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水
　指定箇所塩ﾋﾞ系ｼｰﾄ防水S-M2・S-F2改修
　施工時は安全対策用親綱設置，安全帯を使用すること。（金具取付ｱﾝｶｰ箇所補修）

その他
昇降用（先行足場　1200枠　階段共），養生ｼｰﾄ張り
渡り桟橋設置
※足場撤去時，壁ﾂﾅｷﾞｱﾝｶｰ箇所補修
鋼製仮囲い，施錠可扉付仮囲いH2000設置

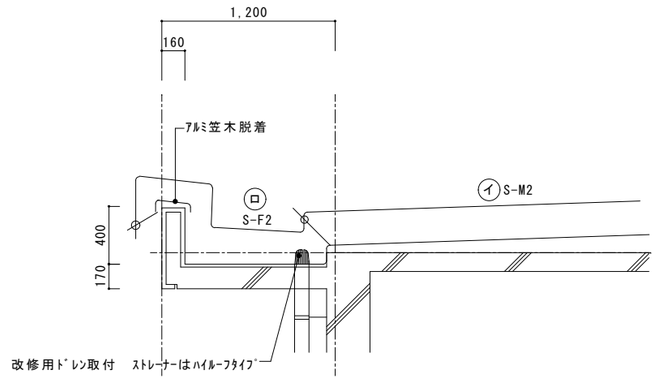


配置図　1/800

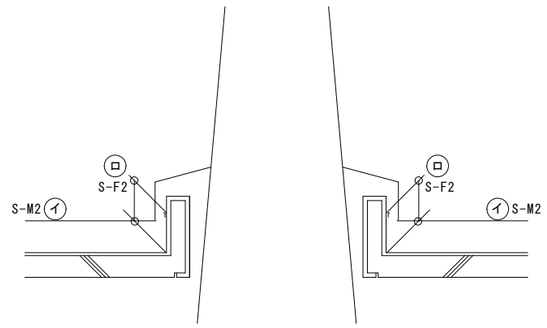
工　事　名	福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事			福山市教育委員会事務局管理部施設課		2022年10月	図　面　No.
図面名称	仕様書・付近見取図・配置図	縮　尺	図示	主　務	係　員 / 次　長	課長補佐 / 施設課長	部長 / A－02



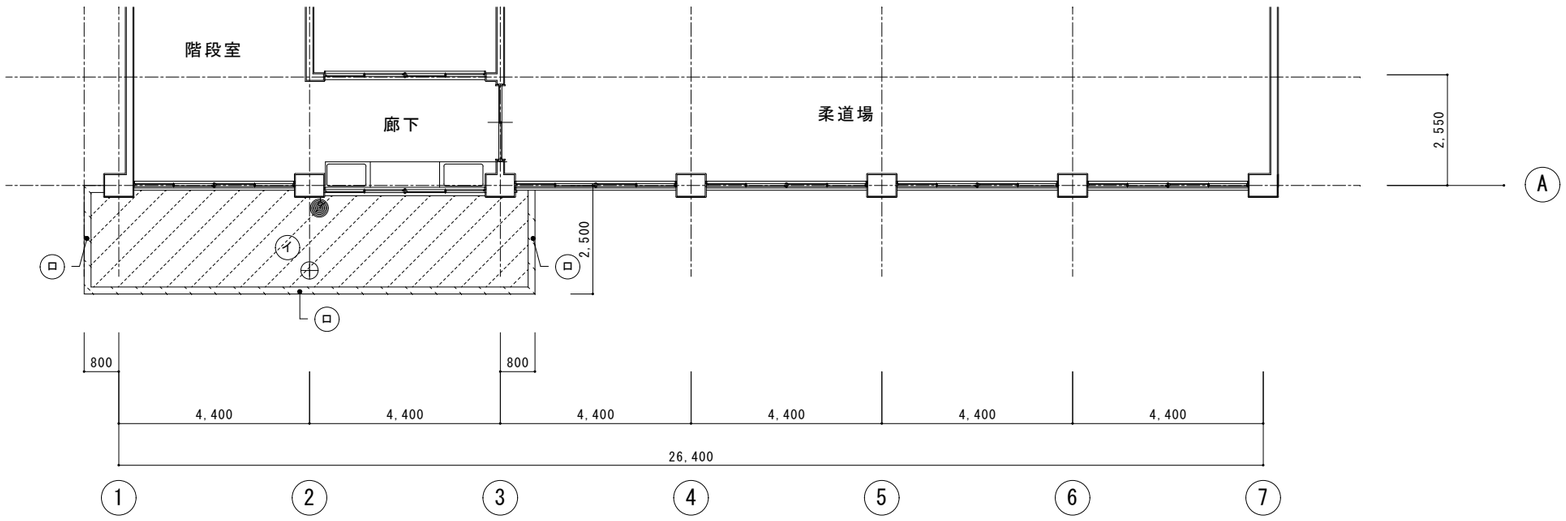
R階平面図　1/100



Ⓐ－Ⓐ 断面図S=1/30



Ⓑ－Ⓑ 断面図S=1/30



2階平面図　1/100

工事符号及び工事内容

施工範囲	記号	改修内容
	イ 平場部	既　　存：加硫ゴム系シート防水 改修内容：高圧洗浄，合成高分子ルーフィングシート張り （塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法）
	ロ 溝平場部 立上り部 笠木部	既　　存：加硫ゴム系シート防水 改修内容：既存シート防水撤去（端部防水押え共），高圧洗浄，下地処理 合成高分子ルーフィングシート張り （塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法） 端部防水押え：一般部アルミアングル10*30取付 シーリング仕舞 パラペット端部アルミアングル45*65取付　シーリング仕舞 （変成シリコン10*10） パラペット天端アルミ笠木脱着
	ハ 庇部	既　　存：防水モルタル押え 改修内容：高圧洗浄，下地処理の上，ウレタン塗膜防水（X-2工法）

4箇所：SUS脱気筒取付
7箇所：改修用ドレン取付　ストレーナーはハイルーフタイプ
0箇所：改修用ドレン取付
施工時は安全対策用親綱設置，安全帯を使用すること。
パラペット天端アルミ笠木は一時取外し，復旧

※下地処理については伸縮目地撤去の上，ポリマーセメントペーストにて下地補修とする。
※工事受注者は，工事完成時に防水保証書（１０年間）を提出すること。

工事名	福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事			福山市教育委員会事務局管理部施設課				2022年10月	図面No.
図面名称	平面図・断面図	縮尺	図示	主務	係員	次長	課長補佐	施設課長	部長	A-03

参考数量書

§工事名称　　福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事

§工事場所　　福山市松永町二丁目24番16号

特記事項

1　この数量書は，福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って，契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事建築数量積算研究会制定）

設　　計　　書

工事名称　　福山市立松永中学校技術棟屋上防水改修工事

工事場所　　福山市松永町二丁目２４番１６号

防水改修工事・・・一式

福　　山　　市

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
防水改修工事	1	式		
産業廃棄物等	1	式		
計				

建築主体工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	仮設工事	1	式		
計					
防水改修工事	防水改修工事	1	式		
計					
産業廃棄物等	産業廃棄物等	1	式		
計					

建築主体工事　直接仮設工事　仮設工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し (屋上防水改修)		329	㎡			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	403	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	403	㎡			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式) 10m未満	建地幅900 掛払い手間　基本料　供用賃料 修理費　安全手摺　運搬費含む	82.6	㎡			
養生ｼｰﾄ張り	防炎Ⅱ類 掛払い手間　基本料　供用賃料 修理費　運搬費含む	119	㎡			
墜落静止用器具費 月額損料	改修工事	1	式			
計						

建築主体工事	防水改修工事			防水改修工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
既存防水層撤去	屋上防水層 ｼｰﾄ防水層　集積共	142	㎡			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	471	㎡			
下地補修(ｼｰﾄ防水改修面)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ	142	㎡			
下地補修(ｳﾚﾀﾝ防水改修面)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ	6.7	㎡			
ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞﾆﾙ系t1.5	S-M2(機械的固定工法)	329	㎡			
ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞﾆﾙ系t2.0	S-F2(密着工法)	142	㎡			
ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2	立上り	6.7	㎡			
狭隘部施工割増	設備配管架台，室外機等ｼﾞｬｯｷｱｯﾌﾟ含む	1	式			
防水押えｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ (材工共)	L-10*30*1.5 ｼﾞｮｲﾝﾄ,ﾋﾞｽ含む ｼｰﾘﾝｸﾞ共	19.8	m			
SUS脱気筒	材工共	4	か所			
改修用ﾄﾞﾚﾝ φ75 ｼｰﾄ用	縦引き　ﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ含む	7	か所			
荷揚げ費	16t	1	式			
ｱﾙﾐ笠木 一時撤去再取付	ｱﾝｶｰ共	99.1	m			
計						

建築主体工事	産業廃棄物等			産業廃棄物等		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
建設発生材運搬費	廃ﾌﾟﾗ	0.5	t			
建設発生材処理費	廃ﾌﾟﾗ	0.5	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
成形鋼製仮囲い H=2.0m	設置費　撤去費　基本料 供用賃料　修理費　運搬費	7.8	m			
親綱設置	安全対策費　ｱﾝｶｰ設置個所補修共	1	式			
計						